

JASIS 2022 見聞録

(Japan Analytical & Scientific Instruments Show)

最先端科学・分析システム&ソリューション展「JASIS 2022」が2022年9月7日(水)～9月9日(金)の3日間、幕張メッセ(千葉県千葉市美浜区)で開催されました(図1, 2)。東京オリンピックの開催延期等に伴い、昨年度と一昨年度は11月の開催だったため、例年の9月開催は3年ぶりとなりました。JASISは今年で10周年ということもあり、その歴史について触れたいと思います。JASISは日本分析機器工業会(JAIMA)と日本科学機器協会(JSIA)の共同主催で開催されていますが、2009年まではJAIMAは分析機器展を、JSIAは科学機器展をそれぞれ主催されて開催していました。2010年に初めて共同主催で合同展「分析展/科学機器展」が開催され、その後、分析機器展(分析展)としては50回目、科学機器展としては35回目に当たる2012



図1 JASIS 2022 展示会場の様子



図2 展示会場付近の様子

年に、統一名称を「JASIS (ジャシス=Japan Analytical & Scientific Instruments Showの頭文字)」に決定して第1回目が開催されました。なお、この名称には「日本発—From JAPAN」により、世界の科学技術の発展に貢献するという熱い想いが込められているそうです。この分野ではアジア最大級の展示会となり、2022年はJASISとしては10周年、そして分析機器展は60回目、科学機器展としては45回目の開催となります。

JASIS 2022の入場者は合計12465名(1日目4195名、2日目4032名、3日目4238名)で、昨年の1.47倍(3975名増)と増加しました。この時期は既に行動制限が緩和されていましたが、新型コロナウイルスの「第7波」が流行し、開催された3日間の全国新規感染者数の平均は第6波のピーク以上の約11.4万人でした。そのような中での入場者増は、やはり、この展示会の関心度の高さを感じます。また、出展は322社であり、2021年が270社、2020年が276社であったことから、500社近くありましたコロナ禍前には及びませんが、回復の兆しが見えるような結果でした。なお、新技術説明会の発表会社数については59社(225テーマ)で、昨年の65社(228テーマ)に比べて僅かに減少していました(図3)。

さて、取材は開催2日目の9月8日(木)に行き、11時に事務局を訪ね、事務局長の若尾豪様のご案内のもと、JASIS委員会委員長の杉田隆通様、技術委員会委員長の杉沢寿志様からJASIS 2022の見どころなどを伺いました。まず、初日に行われた10周年記念講演「研究環境の進化と科学・分析機器の未来～社会課題を解決



図3 新技術説明会会場前の様子 JASIS 2022 展示会場の様子



図4 LabDX デモ展示の様子

に導く研究インフラのあり方～」は、約300名の参加があり大変盛況だったそうです。総合科学技術・イノベーション会議議員の波多野睦子氏の講演の後、DXや人材育成をテーマとした座談会で行われたそうですが、予定した50分では収まらず、そこからも盛況ぶりが伺えました。

次にトピックスセミナーとJASISスクエアについて伺いました。トピックスセミナーは「現代社会に求められる様々な課題解決やヒント」につながる講演・解説を専門家や有識者が行うもので、このテーマは2年連続です。JASISスクエアの企画の一つであるLabDX（ラボラトリ・デジタル・トランスフォーメーション）については、事務局を後にしてデモ展示の場所まで一緒に移動し、杉沢様から直接説明していただきました（図4）。ラボラトリの将来像は、様々な分析データや分析機能を一体として扱えるようになり、また、ラボラトリにおいて人に依存している業務がオートメーション化され、研究者が創造的活動へシフトしているラボラトリであり、それを支えるのがLabDXだそうです。そのためには、分析機器/ラボ機器/アプリケーションが互いに“伝える/理解し合う”ことが必要であり、それを実現する情報モデルの開発や、将来像が実現したラボラトリはどんなものかをデモ展示を用いて分かりやすくご説明いただきました。

その後の取材は、ステージエリアでの講演を拝見したり（図5）、展示会場全体を終了時間の17時まで見学しました。想定通り時間が足りず、見切れない出展社が多数ありましたが、そんな時にも強い味方が「JASIS WebExpo®」でした（図6）。会期は2023年3月15日



図5 ステージエリアでの講演中の様子



図6 JASIS WebExpo® 2022-2023でのコンファレンス/トピックスセミナーの表示画面

（水）の17時までで、これまでのセミナー動画も公開されています。また、幕張会場での講演の内、掲載可能なものは準備出来次第、10月頃から動画が掲載されるそうです。

来年のJASISは2023年9月6日（水）～8日（金）3日間、場所は今年と同じ幕張メッセで開催されます。また、JASIS関西2023も2023年2月1日（水）～3日（金）にグランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）にて開催されます。ぜひ、お立ち寄りいただければと思います。

最後になりましたが、今回の取材にあたって貴重な時間を割いていただき、本原稿執筆にも多大なご協力を賜りましたJASIS委員会及び事務局の皆様、運営に携わられた皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。

〔日本大学生産工学部 齊藤和憲〕
〔産業技術総合研究所 津越敬寿〕